

志免町水道事業ビジョン(案) パブリックコメント回答

平成 27 年 2 月 2 日～3 月 2 日パブリックコメント募集

提出された意見（原文のまま）	町の考え方
P 1 冒頭の書き出しが「本町」と表記されています。この傾向は、この後のほとんどのセクションの書き出しでも使われています。やはり書き起こしは「志免町」とするほうが適当であると感じます。 町の紹介が非常に解りづらく、第 5 次志免町総合計画 P 10 をそのまま引用されていますが、計画の第 1 ページを飾るにはあまり適切とは思えません。 例えば、（下線部分は、特に気になる表記です。） 「<u>本町は、福岡県の西部、福岡都市圏のほぼ中心、糟屋郡の西南部に位置しています。福岡市また福岡空港に隣接した南北に細長い総面積 8.69 km² の小さな町です。町内に山岳はなく、須恵町・宇美町・大野城市に接する東南部の丘陵地、福岡空港を挟み福岡市と接する西南部の丘陵地及びこれらの丘陵地の間を福岡市・粕屋町へと広がる平坦地で、町のほぼ中心を三郡山に水源を持つ宇美川が北へ貫流しています。</u>」とありますが、これは、 「志免町は、福岡県の西部、糟屋郡の西南部に位置する南北に細長い総面積 8.69 km² の小さな町です。地形としては町内に山岳はなく、須恵町・宇美町・大野城市に接する東南部及び福岡市と接する西南部が丘陵地となっており、福岡市から粕屋町へ広がる平坦地の一部を占めています。 町のほぼ中心を多々良川の主要支川である宇美川が北へ貫流しています。」のように簡潔な表現にしていかがでしょう。 さらに、「本町水道事業は従来、急増する水需要に対応するための様々な水源開発、水質悪化に伴う浄水処理設備等、様々な施設整備を行い、安心、安全な水道の安定供給に努めてきました。一方、<u>現在の社会情勢に関しては、人口は福岡市のベッドタウンとして依然として増加しているものの、核家族化や高齢化は全国と同様の傾向を示しており、人口増加は鈍化の傾向が見られます。また、本町の伏流水水源である御笠川では、流域における下水道の普及に伴い、河川水質は改善しているなど、水道施設整備を進めた当時とは異なる事業環境となっています。現在はこれらの施設の更新時期を迎え、水需要量に応じた施設形態への対応や、施設や管路の耐震化などへの対応など、今後の社会経済情勢を考慮した事業運営が必要となっています。</u>」と続きますが、 「志免町の水道事業は、急増する水需要に対応するための様々な水源開発を行ってきましたが、町の人口は福岡市のベッドタウンとして増加してはいるものの、核家族化や高齢化が進み微増の傾向にあります。 また、水質の悪化に伴う浄水処理施設の整備を進め、安心、安全な水道の安定供給に努めてきました。しかし、本町の主な水源である御笠川では、流域における下水道	冒頭のみ「志免町」とします。 文言については、ご指摘の内容を参考に文章を見直します。

の普及に伴い、河川水質が大幅に改善しており、水道事業開始時とは異なる事業環境となっています。

さらに、現在はこれらの施設の老朽化等に伴う更新や水需要量に応じた施設形態への転換、各施設、管路の耐震化などといった対応が必要です。」のように、同じ文言を多用せず、読みやすくわかりやすい表現にしていきたいと思います。

続いて、

「こうした水道事業を取り巻く環境の大きな変革期において、水道事業の政策目標として水道ビジョンに示されている「安全」、「強靱」、「持続」に適合し、志免町の地域特性を考慮した確かな将来像を踏まえた実施可能な水道事業基本計画の策定が求められています。」

以上のことより、災害対策や将来の水需要の予測・施設の現状と更新計画・財政運営の見通しなどの基礎調査を基に、志免町の水道事業の問題点、課題を明らかにするための現状分析や、将来像策定のための計画検討を行い、併せて受益者である住民のニーズを反映した志免町水道事業ビジョンを策定します。」

とありますが、一行目は国の施策ということを明確にすべきと思います。

「国は、こうした水道事業を取り巻く環境の大きな変革に伴い、水道事業の政策目標として水道ビジョンを策定しました。志免町においても地域の特性を考慮した「安全」、「強靱」、「持続」の実施可能な水道事業基本計画の策定が求められています。」とすれば、後段の町のビジョン策定の趣旨や位置づけがはっきりすると思うのですが。

図-1.1について、赤地、緑地に白抜き、青地に黒抜きなど色の使い方にもう少し工夫が欲しいと思います。見づらい。小さいのも気になります。

全体的に、この概要版の図表やグラフにもっとカラーユニバーサルデザインの尊重をお願いしたい。

グラフ等の色使いについては、カラーユニバーサルデザインを参考に、見やすい色使いに変更します。

提出された意見（原文のまま）	町の考え方
P 2 年号表記について。（全体の問題として） 西暦との併記はできませんか。平成 25 年（2013 年）とか、2013（平成 25）年とか。 P 12 の凡例、P 46～P 50 だけが西暦表示となっているようです。 このページの給水区域図は小さすぎて見えません。凡例に至っては全くわかりません。志免町全域が給水区域であるのなら、敢えて判別しづらい区域図を載せる必要があるのでしょうか。P 9 の施設位置図と重ねるとか、検討されてはいかがでしょうか。	和暦表記に統一します。 ご指摘のとおり、区域図は削除します。
P 3 下から 2 行目。「人口がピークを迎えるまでは・・・」とありますが、ピークを何年に何人と想定するのか、その根拠（例えば第 5 次総合計画とか）をここでも示しておくべきと考えますが。	「人口がピークを迎えるまでは」の文言を削除します。 人口予測の説明は、水需要予測の項で詳述することとします。
P 6 文章で 5 行目「見られるが」は「見られますが」では。	ご指摘のとおり修正します。
P 7 図の下の方「ゲリラ豪雨等」とありますが、初めて登場する用語ですので、「突発的な集中豪雨（ゲリラ豪雨）」といった表現が適切かと。（P 4 5 でも出てきますがそこはそのまま可として。	ご指摘のとおり修正します。
P 8 図-2.1.5.1 の赤地青地について、P 1 に同じ。 図表中、「福水企」と表示されています。福岡地区水道企業団の略称であることを明示すべきです。	ご指摘のとおり修正します。 図表の「福水企」表記は削除します。
P 9 この図面は、平成 26 年 3 月 31 日現在とされていますが、古い地図が使われているのではないのでしょうか。（例えば、主要地方道福岡東環状線の書き込みがありません。）施設位置を示すのに支障はないのかもしれませんが、これからのビジョンを示そうというのであれば、最新の図面を用意すべきだと思います。 地図上、「御笠川水源池」と表示されていますが、ほとんど「御笠川水源」となっています。現状からして、水源「池」はなじまないと考えます。	地図は新しいものに変更します。 水源名称は「〇〇水源」に統一します。
P 10 下から 9 行目「実施しております。」は「実施しています。」では。 下から 6 行目「判断して問題ない。」は「判断しています。」が適切かと。 下から 3 行目「必要と考えられます。」はもっと主体的に「必要です。」と。 最後の表現についても「行う必要があります。」は「行っていきます。」位の積極的な意思の表明をしてほしい。	全てご指摘のとおり修正します。

提出された意見（原文のまま）	町の考え方
P11. P12. P13 の凡例を大きく表示していただきたい。	ご指摘のとおり修正します。
P13 文章で「阪神淡路大震災や、東日本大震災<u>レベルの地震</u>」とありますが、まず、地震の規模をいうのであれば、阪神淡路大震災は「1995 年（平成 7 年）兵庫県南部地震（マグニチュード 7.3）」、東日本大震災は「2011 年（平成 23 年）東北地方太平洋沖地震（マグニチュード 9.0）」であり、さらに M7.3 と M9.0 を「大震災レベルの地震」と併記するのは不自然です。規模が違いすぎます。 凡例の被害件数で 0.1 の意味がわかりません。説明が必要では？（単位が表示されていません。）	発生する確率は低いものの、万が一発生した場合に大きな被害が予想される地震の例えとして記載しております。 上記内容を説明として追記します。
P15 収益的収支で毎年 2 億円弱の利益が発生しているとなると、料金が適正であるかと感じます。生じた利益はどう使われているのか、将来何をするのかなどの説明があるといいと思います。現状把握とはいえ、ビジョンを示すべきです。 図-2.1.8.2 のグラフの色、文字の大きさを改善してください。	毎年の利益は将来の更新等への備えとします。 上記内容を説明として追記します。 グラフ等のご指摘のとおり修正します。
P17 「25 番目の料金の<u>高さ</u>」とありますが、「25 番目の料金<u>水準</u>です」位の表現が適切かと思います。 図-2.1.8.5 のグラフの色使い。	ご指摘のとおり修正します。
P18 「<u>企業債の未償還残高は 40 億円程度ありましたが、平成 19 年度以降は企業債を借入していないことから未償還残高は年々減少し、平成 25 年度では 26 億円となっています。</u>」とありますが、 「企業債残高は、2006 年（平成 18 年）度には約 40 億円ありましたが、2007 年（平成 19 年）度以降借入れを行っておらず、2013 年（平成 25 年）度末では約 26 億円となっています。」のような表現がわかりやすいと思います。さらにこの計画期間 2024 年（平成 36 年）度までの未償還元金の推移をグラフ化してはいかがでしょうか。 資金別（政府債、金融機構債）の説明、利率ごとの残高も示してはいかがでしょうか。	利率ごとの残高は細かな内容となりますので掲載しないものとします。 その他についてはご指摘のとおり修正します。

提出された意見（原文のまま）	町の考え方
P19～P24 について。 業務指標、データ把握とその資料については、概要版に記載すべき資料でしょうか？水道事業ガイドラインや業務指標（P I）についての若干の説明とその結果（分析結果）を文章化し、「水道事業ガイドラインの業務指標（P I）を活用していく」といった内容でいいのでは。 P20 は単に P21～P24 の表の見方の説明であって、結果についての解説がありません。P19 の表共々改善されることを望みます。	ご指摘のとおり修正します。
P25～P41 のアンケートについても業務指標の項と同じくこの概要版に記載すべきものでしょうか。アンケートの結果や分析を端的にまとめ、その結果を「ビジョンに活かす」というのが本筋だと考えます。 しかも、アンケートの実施日が不明です。 サンプルの基礎データが示されていません。 一般（P26～P36）と小・中学生（P37～P41）のグラフ等に統一性がありません。 やはり、資料編を作成し、先の業務指標などと備えてはいかがでしょう。	水道利用者アンケート、子供アンケート共に重要な調査結果と考えており、このまま掲載するものとします。 実施期間、基礎データについては追記します。
P42 「(1) <u>人口</u>」は「(1) 給水人口」とした方がわかりやすい。 「平成 25 年の<u>実績値</u>」とありますが、人口に実績値という文言はあまり用いないと思います。平易に「平成 25 年度末人口」でよいのでは。 「49,700 人まで増加します。」とありますが、断定できる根拠が示されていません。 「2034 年（平成 46 年）で、49,700 人を見込んでいます。」とすべきでは また、既に、給水普及率が 99.7%であるなら、「給水普及率も上昇してきており、」は削除していいのでは。さらに、「今後も行政人口と同様に増加するものと考えられます。」とするなら、後段の「H25 年の給水人口は 45,404 人ですが、H46 年では 49,700 人にまで増加すると予測しています。」は削除してもいい。普及率 100%への取り組み、P 2 との整合性を図った表現を。 2 つの図表が小さすぎます。	ご指摘の内容を参考に、文章を見直します。
P43 2 行目「料金<u>徴収</u>」とありますが、消費者的には「料金収入」としていただきたい。	ご指摘の内容を参考に、文章を見直します。
P42、P43 のみ、太ゴシックと下線が使われています。統一性に欠けること、関連する説明もないことから不必要と感じます。	ご指摘の内容を参考に、文章を見直します。

提出された意見（原文のまま）	町の考え方
P44 このページには、「より」「一方」「多様な」「検討」が多用されています。 例えば、2行目中ほどからの 「<u>福岡地区水道企業団より水道用水供給を受けるなど、多様な水源を保有しており、渇水に対する安全度は、以前と比較して非常に高くなっていると考えています。</u>」 とありますが、「福岡地区水道企業団からの受水によって、渇水に対する安全度は以前と比較して高くなっています。」程度の表現でいいのではないのでしょうか。 文章の下から4行目に「平成25年度は逆転しています」とありますが、なぜそうなのかの説明がありません。この概要版では大山ダムの供用開始に一切触れられていませんが、何か理由があるのでしょうか？（五ヶ山ダムについてはP4に記載がありますが）また、今後（計画期間）の受水および取水量（計画値）の推移を図-2.2.2.1の中で表示することはできないのでしょうか。 下から4行目後段に「取水量によって多様な水運用が可能である」とありますが、その理由がわかりません。特に「多様な水運用」について。 また「<u>経済性の面から、最も適した取水運用についても検討を行い、取水能力に対する安全性の確保と、経済性の両面から、効率的な施設形態の検討を行います。</u>」についても難解な表現です。「取水運用」、「経済性」や「検討を行い」を整理してわかりやすい表現にできないのでしょうか。	ご指摘の内容を参考に、文章を見直します。 今後（計画期間）の受水および取水量（計画値）の推移のうち、受水については五ヶ山ダム分について追記します。自己水源の取水量については、変更がない見込みであるためグラフはこのままとします。 水運用についての説明は、ご指摘のとおり見直します。
P45 このページでも「リスク」が3回出てきますが、2行目の、「<u>影響するといったリスクは低い</u>」は「<u>影響することは低い</u>」、6行目の「<u>水源の汚染リスクとしては</u>」は「<u>水源の汚染原因としては</u>」と書き換え可能では。 7行目の「<u>新馬越貯留地</u>」は「新馬越貯留池」では。 下から5行目以降について。 「<u>上下水道課の取り組みについて、広く利用者へ周知することが重要と考えます。今後、安心、安全な水道水を供給に努めていること、またその成果等に関する効果的なPR手法について検討を行い、水道の安全性に対する理解を深めてもらうための取り組みを重点的に実施するものとします。</u>」の部分は、 「安心、安全な水道水の供給に努めていることを広く利用者へ周知することが重要と考えます。水道水の安全性に対する理解を深める取り組みを重点的に実施するものとします。」としてはいかがでしょうか。	ご指摘の内容を参考に、文章を見直します。

提出された意見（原文のまま）	町の考え方
P46 このページでは、「本町においても」「本町において」「本町における」が目立ちます。もう少し整理できませんか。 「発生」が6回登場します。2行目は「給水制限を行うなど」、3行目は「行っていません」と主体的な表現にはいかがでしょう。	ご指摘の内容を参考に、文章を見直します。
P47 ここでは、文章中で「2014年度」と表記されています。 図-2.3.1.2の説明は「管路布設年度別延長」では。	ご指摘のとおり修正します。
P49 このページも西暦年号で文章化されています。整合性を。	年号は和暦で統一します。ただし、超長期の見通しについては、西暦表記とします。
P50 下から5行目「効率化している <u>こ</u> 事」は「効率化してい <u>く</u> こと」では。	ご指摘のとおり修正します。
P51 4行目後段「130百万円」は、これまでの表記の流れからすると（P15、P16）「1億3千万円」とした方がいいのでは。 グラフの年度表示が見つらいです。P52も同じ。	億円を単位とし、1.3億円に修正します。 グラフ表記は見やすく修正します。
P53 「 <u>組織体制を維持し、人材を確保しておく必要があります</u> 、一定数の職員数を確保しておくことが不可欠です。」とありますが、 「人材を確保しておく必要があります、一定数の職員数による組織体制の維持が不可欠です。」とするとすっきりします。	ご指摘のとおり修正します。
P54、P55の表頭の青地に黒文字の改善を。	ご指摘のとおり修正します。
P58 「近隣水道事業等」とありますが「近隣水道事業 <u>者</u> 等もしくは近隣水道事業 <u>体</u> 等」と表記した方が適切では。P62では「体」、「者」が使われています。できれば統一した方がいいと思います。 中ほどに福岡地区水道企業団の注釈がありますが、本来P3で最初に登場したときに記述されるべきです。	「水道事業者」に統一します。 福岡地区水道企業団の注釈についてはご指摘のとおり修正します。
P59 （3）②の2行目に「御笠川水源地」とありますが。P9では地図上「御笠川水源地」と表示されていますが、他では「御笠川水源」です。統一できませんか。 （3）③の2行目に「長寿命化（耐用年数以上施設を利用すること）」とありますが、P50で長寿命化の記述があります。まず、このP50で上記の表現を行うのが自然です。	水源名称は「〇〇水源」に統一します。 文言の説明は、ご指摘のとおり、最初に記述した際に追記するよう、修正します。
P60 （5）①で「自己水源（地下水や伏流水）」とありますが、これも最初に登場するP3で表示しておくべきと考えます。	文言の説明は、ご指摘のとおり、最初に記述した際に追記するよう、修正します。

提出された意見（原文のまま）	町の考え方
P61 （7）①の文中「発生」が3回も記載されています。 「・・・は給水制限に至るような渇水は発生していません。しかしながら、仮に給水制限に<u>至る渇水が発生する</u>ような事態が<u>発生</u>した場合に、混乱することなく、・・・」とありますが、表現が回りくどい印象を受けます。 「・・・は渇水による給水制限は行っていない。しかしながら、仮に給水制限に至るような渇水が起きた場合には、混乱することなく、・・・」としても十分通じます。	ご指摘の内容を参考に、文章を見直します。
P62 1行目「調査結果より」とあるのは、「調査<u>結果によると</u>」としたい。2段落目の「一方で」の用法は相応しくないと思います。「このことは」と受けるべき文章の流れです。また「状況」が続きます。 「<u>一方で、水道に関する広報については、その認知度が非常に低い状況にあり、水道事業者以外からの情報に影響されやすい状況にあるものと推察しています。</u>」の部分は、 「このことは、水道に関する広報についてその認知度が低く、水道事業者以外からの情報に影響されやすい状況にあるものと推察しています。」と。 次の段落でも「取り組み」が2回使われています。またここだけへりくだった表現がされています。さらに、担当課のホームページではなく、志免町のHPとすべきでは。 「<u>以上のことから、特に、本町の安心安全な水道水供給に対する取り組みについて、十分な広報活動を行うことが重要であると認識し、今後、水道週間、施設見学、上下水道課ホームページ等の媒体を有効に活用し、住民の皆様に、水道事業に対する理解を深めて頂くための広報について、取り組みを強化していくこととします。</u>」の部分は、 「以上のことから、特に、本町の安心安全な水道水供給に関して、十分な広報活動を行うことが重要であると考えます。今後、町のホームページ等の媒体を有効に活用し、水道週間でのイベントや施設見学を実施し、住民の水道事業に対する理解を深める取り組みを強化していくこととします。」のように整理できるのではないのでしょうか。 このページでは、「水道事業者」、「近隣水道事業体」、「近隣水道事業者」が使われています。P58でも指摘しました。統一した方がすっきりします。	ご指摘の内容を参考に、文章を見直します。
P63 （3）②の2行目中ほど「実施する計画とします。」とありますが、素直に「実施します。」とは表記できませんか。	全町として取り組む必要があることから、「実施を検討します」の表現とします。
P64 表-6.1の表頭 中期計画の下段「H32～<u>H37</u>」とありますが、「H32～H36」ではないのでしょうか。	ご指摘のとおり修正します。